

これまでコロナ感染予防対策としてマスク着用をお願いしてきましたが、マスクの着用はみなさんの判断にお任せします。着けたくない人は着けなくていいですし、着けたい人は着けていいです。教会としては、当面の間は引き続き礼拝堂等の換気や消毒等に十分配慮します。



ひかりのこ

2023年度 **4月号**

日本キリスト教団
名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)
 名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820
 ホームページ: [名古屋新生教会](#) 検索

今年は桜の開花も早く、一気に春がやって来ましたね。2023年度が始まり、みなさんは1つずつ進級し、新たな学年になりました。小学校、中学校、高校、大学へと進んだお友だちもいますね。春は新たな出会いのときでもあります。新たな気持ちで、神さまとの出会いを大切にしましょう。

2023年度 子どもの礼拝 (CS Children's Service)

ティーンズ礼拝 (小4~中高生) 9:00~ こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~
 名古屋新生教会 牧師: 安達正樹 子どもの礼拝 代表: 武岡 基

これまでティーンズ礼拝後の「分級」の時間は「プレイ・タイム」と呼ぶようにします。小学生から中高生まで一緒に同じプログラムを行うこともありますが、小学生・中高生それぞれに分かれて行うこともあります。「プレイ」…遊びとしての play、お互いに思っていることや悩み、課題を分かち合って祈る pray、そんな時間になればと考えています。

今月の礼拝

単元1: 十字架と復活①

📖…お話 🎵…奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生以上) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生以上) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
4月2日	十字架	マルコ福音書 15章	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	イースターに向けて たまごカード作り	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
4月9日 イースター	復活	ルカ 24:1-12 ローマ 4:25	📖 安達正樹牧師 🎵 堤 砂里奈	たまご探し	📖 安達いづみ 🎵 堤 砂里奈
4月16日	エマオへの道で	ルカ福音書 24:13-35	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	新学期 どうぞよろしく👏	📖 武岡 基 🎵 安達いづみ
4月23日	エルサレムで	ルカ福音書 24:36-49	📖 堤 砂里奈 🎵 武岡路実	新学期 どうぞよろしく👏	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
4月30日	昇天	使徒 1:3-14 (マタイ 28:16-20)	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	母の日プレゼント作り (担当: いづみ・路実)	📖 安達正樹牧師 🎵 武岡路実

イースター礼拝 4月9日(日) イエスさまの復活をお祝いしましょう。

ティーンズ礼拝 (小4以上) 9:00~
 ※「たまご探し」(幼児~大人) 9:35~
 こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~



※教会に通っているみなさんのための催しとします。

今月の聖句

(2022年度教会聖句 教会総会で決まり次第2023年度教会聖句とします)

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(ローマの信徒への手紙 12:12)

今月のさんびか

こどもさんびか 130 (いつくしみふかい)

讚美歌21...493

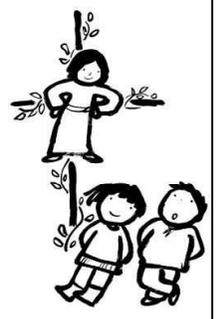
今月の礼拝では、イエスさまの十字架、復活(イースター)のできごと、昇天(イエスさまが復活された後、天へと昇られる)について順を追って学んでいきます。イエスさまの十字架は、私たち一人ひとりへの愛によるものです。イエスさまの私たちへの愛は、とても深く、とても大きなものです。その愛に、私たちは祈りをもって応えましょう。

今月のさんびか「いつくしみふかい」は、日本で最も有名で親しまれている賛美歌と言ってもよいでしょう。曲を聞いて「あ、聞いたことある。でも賛美歌の曲だったんだ!」と思った人も多いことでしょう。賛美歌としてだけでなく、メロディーそのものも有名な曲になっています。

作詞者のジョゼフ・スクライヴンさん(1819-86)は、アイルランド生まれで、ダブリンのトリニティ・カレッジに学びました。健康ではなかったために最初に志した職業を諦めたり、婚約者が結婚直前にこの世を去ってしまうという不幸を2度も経験したりするなど、何度も挫折と失望を繰り返した人生でした。カナダに渡って教師になりましたが、その後には身体に障がいのある人や貧しい人々に寄り添う活動に生涯を捧げました。彼の奉仕ぶりは「良きサマリア人」とさえ称されるほど献身的なものでした。しかし、晩年はうつ病であったとも言われています。この詞は、幾度となく味わった挫折を乗り越えたたびに書き加えられ、1855年に遠く離れ年老いた母親を慰めるために書き加えられた一節により完成されたと言われています。

この詞に曲を書いたのが、チャールズ・コンヴァースさん(1832-1918)です。彼はアメリカ・マサチューセッツ州生まれ、ドイツのライプチヒに留学して音楽を学びました。帰国後、法学を修めて弁護士となり、音楽活動も続けました。今風に言えば、弁護士と音楽家の「二刀流」です。音楽家としては、管弦楽や室内楽の作品、合唱曲を残しています。教会学校や伝道運動で、音楽伝道の活動にも協力しました。

この曲は親しみやすいメロディーから、日本では「月なきみ空にきらめく光」という詞が付けられ、「星の界」「星の世界」と題されて、文部省唱歌としても歌われました。元々の詞では、1850年代前後の最初期の手書きメモには"Pray without ceasing"(ひたすら祈り続けなさい)という題名がつけられ、この歌の主題が「祈り」であることがわかります。イエスさまが共にいてくださるのも、イエスさまからの愛や支えも、すべて私たちの祈りによるものと強調されています。

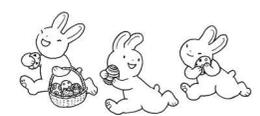


がたんじょうびおめでとう🎂

4月生まれのお友だち

「たまご」と「うさぎ」

クリスマスツリーやリースがクリスマスのシンボルであるように、イースターにもシンボルがあります。「イースターエッグ」と「イースターうさぎ(バニー)」です。玉子(卵)は生命の始まりの象徴であり、殻の中にいる時間を経て、殻を割って生まれてくる様子が、イエスさまの復活を表しています。うさぎは多産であることから、豊穰(農作物が豊かに実ること)や繁栄を象徴しています。ドイツでは古くから、野ウサギが子どもたちにイースターエッグを運んでくるといふ言い伝えがあり、今ではキリスト教の国々ではこの言い伝えが広がっています。



名古屋新生教会では、毎年「たまご探し」が恒例となっています。「たまご探し」とは言っても、保育園と教会の園庭に隠された「たまご型のカード」を見つけ出すゲームです。本来の「エッグハント」は、芝生の広場や家庭の庭に本物のゆで玉子や生玉子をたくさん隠し、それを見つけるイースターの子ども向けイベントです。アメリカなどでは教会の広い芝生の庭や公園で行い、見つけた数を競うこともあります。